



# JAL不当解雇撤回ニュース

No389号 2014.06.24  
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局  
連絡先: 航空労組連絡会事務局  
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4  
フェニックスビル内  
TEL:03-3742-3251 FAX:03-5737-7819  
<http://www.jalkaikotekai.co>

## 日航の株主総会に合わせ宣伝行動 不当解雇撤回と安全の確保を訴える



【写真】総会会場に向かう株主のみなさんにチラシを配布し協力を訴える原告と支援者(6月18日地下鉄九段下駅にて)

6月18日、原告団と当該労組、そして国民支援共闘の呼び掛けで、日航株主総会宣伝行動を実施しました。会場である日本武道館の最寄駅、地下鉄九段下駅にて、不当解雇を撤回し安全第一の経営を実現しようと、チラシの配布と合わせてマイク宣伝を実施し、総会会場に向かう株主のみ



なさんに協力を訴えました。宣伝行動では「頑張ってください」と声をかけ、1万円のカンパを寄せてくれた株主の方をはじめ、会場に向かう多くの株主の方から激励の言葉をいただきました。

10時から始まった株

主総会には、原告から内田団長と山口団長が出席。一般株主の方からは、不当解雇争議の早期解決を求める発言や一連の整備ミス等を踏まえて、安全運航の徹底を求める発言等がありました。

山口・内田両団長も挙手をして発言の許可を求めましたが、議長の植木社長はこれを無視し最後まで指名をせず、発言の機会を得ることはできませんでした。





# 労働条件の回復、安全運航の確保 そして必ず不当解雇の撤回を

## ＝ 6月16日 JALグループ全社員集会 ＝

6月16日、日航の5労組(日航乗組、CCU、日航ユニオン、機長組合、前任機関士組合)で構成するJJ労組連絡会の呼び掛けで、JALグループ全社員集会が開かれました。集会は、一時金要求など夏の労使交渉が大詰めを迎える中で開かれました。集会では、経営破たんの中で大きく切り下げられた労働条件の回復、安全運航の確保、そして不当解雇撤回争議の早期自主解決など、5労組が統一して掲げている要求の実現をめざし、さらに共闘を強化して奮闘し合うことを確認しました。

### 不当判決を乗り越え必ず勝利しよう

集会は、6月3、5日の不当判決直後ということもあり、その中心テーマになったのが不当解雇撤回争闘です。



### 日航内の闘い強化し展望開こう

弁護団から、安原、黒沢弁護士が出席。安原弁護士が不当判決の内容と問題点、そして闘いの展望について報告。



今後の闘いについて安原弁護士は「高裁判決には明確な欠陥がある。これを明らかにして最高裁での勝利をめざす」と述べるとともに、今後の運動については、日航内の闘いの前進が極めて重要と強調すると

ともに、JAL 批判・高裁判決糾弾の大きな世論を作り、最高裁への取り組みと並行して、政府を動かし、そして日航を動かし、自主解決を迫る運動を進めようとして強調しました。

### ILOの怒りに火をつける高裁の不当判決

牛久保弁護士からは、ILOの一、二次勧告の内容と意義、不当判決を踏まえ ILO への働きかけをどう進めるかなどについて報告がされました。

ILO 勧告について客乗判決は完全に無視。乗員判決で

は、勧告は一般論を述べたものであり、また「解雇するなどは言っていない」とするなど、勧告を歪曲した判断を示しています。



牛久保弁護士は、こうした誤った判決は ILO の怒りに必ず火をつける、「ILO の勧告も大いに活用し、不当解雇を撤回しよう」と呼びかけました。

### 職場からの運動で労働条件も不当解雇も

原告団からは山口・内田両団長は、決意を述べるとともに、職場と原告団が一体となって闘い、労働条件も安全もそして不当解雇の撤回も迫ろうと訴えました。また、日東整争議団の佐藤事務局長も支援の訴えを行いました。



集会には約 130 名が参加。用意した椅子が足りなくなり、立ち見も出ました。

CCU 古川委員長の開会のあいさつ、日航ユニオン諏訪書記長の JAL の経営分析、パイロット、客室乗務員、整備、グランドハンドリングの各職場から闘いの報告、そして、日航乗組田二見委員長の閉会のあいさつと、内容の濃い集会となりました。

### 安全も労働条件も不当解雇も全社員の力で

ベテランを排除する人員削減、勤務改悪による稼働強化など、不当解雇強行以降、日航の安全基盤は揺らいでいます。作業ミスや不安全事故が相次ぐ中で整備部門では5日間、工場での整備作業を中止し、全員参加のミーティングを開くなどの措置が取られました。安全運航を守る！、そのためにも労働条件の回復を！そして不当解雇されたベテランを職場に戻せ！これが全グループ社員の強い要求であることが改めて確認され、元気の出る集会となりました。